

住宅防火 だより

令和
7 年

vol.27 2025Nov

急ぐ日も
足止め火を止め
準備よし

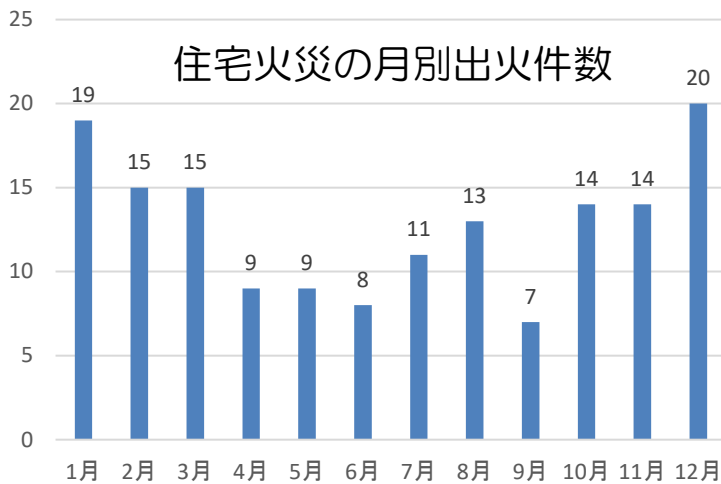
(2025年度全国統一防火標語)

- 住宅用火災警報器は10年を目安に交換しましょう
- リチウムイオン蓄電池からの出火が増えています
- 大規模地震時の電気火災対策には感震ブレーカーが有効です
- いのちを守る10のポイント

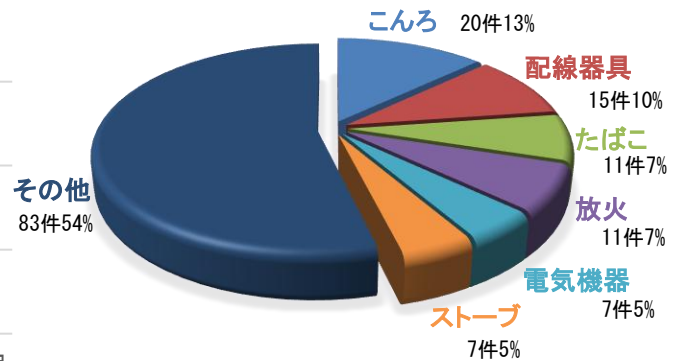


住宅火災の状況（令和6年中：概数）

住宅火災の月別出火件数



住宅火災の主な出火原因



令和6年中に鹿児島県で発生した火災は590件。その内の約26%にあたる154件が住宅火災となっています。

冬から春先にかけて出火件数が多くなっており、原因別ではこんろ、配線器具、たばこの順となっています。

住宅用火災警報器で救われた命があります!!

設置義務です 住宅用火災警報器



「住宅用火災警報器」は、火災により発生する煙を感知し、音や音声により警報を発して、就寝中や仕切られた部屋などに居ても火災を早期に知らせてくれる機器です。

- 事例1** 出火原因：なんらかの原因で1階居室から出火
結果：2階で就寝中だったが、住宅用火災警報器の警報音に気づき1階で炎を確認、住宅は全焼したが家族4人全員避難できた。
- 事例2** 出火原因：仏壇の線香が倒れて、座布団に落下した。
結果：台所で炊事をしていたところ、住宅用火災警報器が鳴り出したため確認に行くと、煙が充満しており水をかけて消火した。
- 事例3** 出火原因：こんろの火を点けたまま外出し、鍋が空焚き状態になった。
結果：住宅用火災警報器の警報音に気付いた隣人が119番通報を行い大事に至らずにすんだ。

住宅用火災警報器の点検・交換

●点検は定期的に

本体のボタンを押すか、付属の紐を引きます。正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。



反応しない場合

すぐに**交換**しましょう！

●交換の目安は10年

設置年数は、設置時に記入した年月で確認しましょう。設置年月の記載がない場合は、製造年でおおよその時期がわかります。

ピピ、
ピーピーピー



ピーピーピー
火事です



少なくとも年2回は点検しましょう。

（春・秋の火災予防運動の時期に実施）

購入方法

お近くのホームセンターや家電量販店、消防設備取扱店などで購入できます。

問合わせ

最寄りの消防署または住宅用火災警報器相談室まで

TEL 0120-565-911

月曜日から金曜日までの9時～17時
（12時～13時を除く）

リチウムイオン蓄電池の留意点

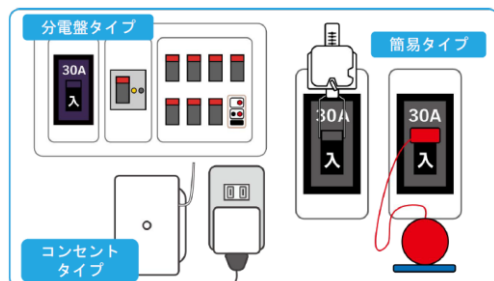
リチウムイオン電池を使用する主な製品



- ・高温多湿な場所や直射日光の当たる場所での保管を避ける。
- ・落下や衝撃を与えない。
- ・膨張・異臭・発熱など異常がある場合は使用しない。
- ・むやみに家電製品を分解・修理・改造しない。
- ・耐用年数を超過した製品は使用しない。

注：処分する際は、地域の分別ルールに従って廃棄してください。

地震時の電気火災対策に感震ブレーカーを！



感震ブレーカーとは、地震の大きな揺れを感じて電気を自動で遮断する機器で、地震の際の電気機器からの出火や停電が復旧したときに発生する通電火災の発生を抑制する効果があります。

注：電気工事が必要となる場合があります。

住宅 防火

いのちを守る

10のポイント

4つの習慣



1 寝たばこは
絶対にしない、
させない



2 ストープの周りに
燃えやすいものを置かない



3 こんろを使うときは
火のそばを
離れない



4 コンセントはほこりを清掃し、
不必要なプラグは抜く

6つの対策



1 火災の発生を防ぐために、
ストーブやこんろ等は
安全装置の付いた機器を使用する



2 火災の早期発見のために、
住宅用火災警報器を定期的に点検し、
10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、
部屋を整理整頓し、
寝具、衣類及びカーテンは、
防火用品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、
消火器を設置し、
使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、
避難経路と避難方法を常に確保し、
備えておく



6 防火防災訓練への参加、
戸別訪問などにより、
地域ぐるみの防火対策を行う

※「住宅防火いのちを守る10のポイント」消防庁

(<https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/juukei.html>)を加工し作成